

三重県鈴鹿市における森林環境譲与税の活用について

■ 活用状況（全体像）

区分	令和元年度～令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	47,352,748	41,659,244	89,011,992	67%	森林整備及び市内公共建築物等への木材利用
譲与額（円）	101,814,000	30,250,000	132,064,000		

■ 令和6年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容
		うち	森林環境譲与税	
森林整備	森林経営管理事業 等	19,307,200	19,307,200	森林経営管理事業（意向調査・境界明確化・林分調査・林政アドバイザーの派遣）等を実施。
木材利用	公共施設木材利用事業	22,352,044	22,352,044	公共施設において木製品を設置し、木材利用の推進を図る。
	基金積立	8,060,756	8,060,756	森林環境基金積立
	合計	49,720,000	49,720,000	

■ 今後の実施計画

①森林経営管理制度に基づく森林整備の実施

森林整備による公益的機能の効果的な発揮が期待できる山間部を優先的に意向調査を実施。令和7年度完了予定。順次境界明確化、集積計画の策定、森林整備を実施し未整備森林の解消につなげていくこととしている。

②三重県産材利用の促進

木材を利用することで、未来につながる森林の持続的なサイクルが保たれます。

	予定額（円）
令和7年度	9,460,000
令和8年度	2,545,400
令和9年度	—

「伐って、使って、植えて、育てる」





●令和6年度森林環境譲与税の使途公表

事業名	事業内容	事業費（千円）	効果（総括）
市民ギャラリー木製品購入事業	市民ギャラリーの利用者に貸出するための木製備品（イーゼル、案内用看板等）を購入し、木製品を身近に感じる機会を提供する。	407	
公民館木製品購入事業	公民館に県産材木製備品（下駄箱等）を設置する。	2,096	施設利用者等に、木材の持つ温かさを感じてもらい、木に触れ合える場を提供することができた。
図書館木製品購入事業	木製備品を購入し、施設の整備・充実を図るとともに、日常的に木材を親しむ空間を提供する。	380	
鈴鹿市文化会館木材利用事業	令和6年度にリニューアルを迎える鈴鹿市文化会館において、三重県産木材を使用した机、椅子、ソファー、カウンター等を設置する。	19,470	
森林経営管理制度意向調査業務委託	庄内地区の森林所有者へ森林経営管理について意向調査を実施する。	5,555	意向調査の結果、159名の委託希望があり次年度以降の森林整備箇所の把握につながった。
境界明確化及び標準値調査業務委託	意向調査の結果、市への管理委託を希望する意向のあった森林所有者の森林について、境界明確化及び標準値調査を実施する。	7,361	市への管理委託を希望する意向のあった森林の境界明確化及び標準値調査を実施する。
林道維持管理業務委託	林道御幣線及び平の谷線における安全通行を確保するため、舗装修繕等を実施する。	2,541	林道利用者の安全を確保することができた。
鈴鹿市森林経営管理支援業務委託	森林・林業に関する専門知識を有し、長期的な視点を持って計画的に本市の森林経営管理制度事業の更なる推進を図る。	3,850	森林経営管理制度事業の円滑な実施に繋がった。
森林環境基金積立		8,060	次年度以降の森林整備等のために基金として積み立てた。
合計		49,720	

なお、三重県から交付される「みえ森と緑の県民税市町交付金」とは、使途を棲み分けたうえで双方を有効に活用しています。

◆木材利用



市民ギャラリー

公民館

(鈴鹿市立図書館)

文化会館



◆森林整備



意向調査

境界明確化及び標準地調査



境界測量

標準地調査

林道維持管理事業

落石撤去



撤去前



撤去後

舗装修繕・清掃

